



# ◆◆◆◆ 伊勢市国際交流協会 ◆◆◆◆

-Ise International Exchange Association-



事務局 〒516-8601 伊勢市岩渕 1-7-29 伊勢市役所本館 2階 市民交流課内

TEL 0596-21-5549 / FAX 0596-21-5642 / E-mail kouryu@city.ise.mie.jp (担当:長岡、中村、木村、村山)

## 通信 令和3年4月号

4  
月  
の  
予  
定

- 4、11、18、25日(日) 日本語教室(昼) 10:00~11:30 いせ市民活動センター
  - 6、13、20、27日(火) 日本語教室(昼) 10:00~11:30 いせ市民活動センター
  - 8、15、22日(木) 日本語教室(夜) 19:00~20:30 いせ市民活動センター
  - 事業委員会 4月16日(金) 19:00~20:00 伊勢市役所東館 5-1 会議室
- ※参加される方は4月14日(水)までにメール又はお電話で事務局までご連絡ください。



### 外国人エッセイシリーズ vol.3 メルカド・ジェイソンさん

協会と関わり合いのある外国人の方に「日本に住んで感じる事、考えている事」を書いていただくシリーズです。

今回の作者は、協会イベントに参加していただいたことがあり、事務局長岡の小学校時代のALT(小中学校で外国語を教えるスタッフ)でもある方です。

今回はみなさんに国際交流感をより味わってもらうために英文となっています。

日本語訳は、事務局の木村が作成しました。



プ  
ロ  
フ  
ィ  
ー  
ル

ジ  
ェ  
イ  
ソ  
ン  
さ  
ん

メ  
ル  
カ  
ド

出身:フィリピン・マニラ市

経歴:2003年~2006年 シャープ株式会社の玉城工場でテレビの品質管理に従事

2006年~現在 伊勢市のALT(外国語指導助手)

来日した理由:日本の生活を経験したり、日本のような先進国に行って、  
日本労働倫理を学びながら働くために、来日しました。



### My Japan life: a life worth remembering

My name is Jason Mercado. I was born in Manila Philippines. I am a Filipino of Japanese descent. My great grandfather, Mr. Kanzuchi Fujiwara was a native of Hiroshima. He was an engineer building bridges at my great grandma's hometown as I was told. I started to become an English teacher under the care of the Ise Board of Education from 2006 to the present. I have a permanent resident visa.

My Japan life journey has had a mixture of excitement adventures and misadventures especially during my first five years of stay and a lot of boredom in all the right ways thereafter. I guess with all the misfortunes and challenges that are happening in the world especially in this time of pandemic I can say that I am lucky to be living in a safe place like Japan. I am in a position to be able to sleep well at night. I am also in a position to extend help to friends and family back home instead of the one asking and needing the help.

I've been living in Japan for more than 15 years. I have spent my entire life in Mie Prefecture although I wanted to try living in bigger cities like Kyoto and Osaka. Every time I say this to my friends I always get the impression that I am Nihongo pera pera by now. Hmmm. Not really. Haha. I don't know how I did it but yes I have realized that since I have no formal education and training in Nihongo yet managed to get by is a feat only without the skill.

Let me tell you one of my anecdotes about my life in my second home Japan.

My stuff was returned to me immediately after losing them. A few years ago I was at the Ise Matsuri enjoying the event when I dropped my wallet somewhere. The next day I called the nearest police station and reported the incident. After several hours a police officer called me to say that I can claim my wallet because someone had returned it to them. I had to bring any form of ID. The funny thing was all my IDs were in my wallet. I just told them the stuff that were in there and they gave me back my wallet.

I wish I could tell you more funny and amusing stories but we don't have the space for them.

I am not 100% sure if I will retire here but given my permanent resident status, that is not an impossibility. What I am sure about is that wherever I am I can claim that my life journey in Japan is worth remembering forever.



### 【日本語訳】 私の日本での人生 - 忘れられない価値のある人生

私の名前はジェyson メルカド (Jason Mercado) といいます。フィリピンのマニラで生まれました。日系フィリピン人です。私の曾祖父である、ふじわら かんずち (Kanzuchi Fujiwara) は広島出身でした。わたしの曾祖母の故郷で職人として橋を造っていたそうです。2006 年から伊勢の教育委員会のお世話の元、英語の教師として仕事を始め、今に至ります。永住者ビザをもっています。

私の日本における人生の旅は特に最初の 5 年間はワクワクするような素晴らしい出来事と不運が入り混じったものでした。そして、その後はほとんど変化のない日々でした。特に、パンデミックで世界中に災難と課題が起こっている中で、自分は日本のような安全な場所に住むことができ、幸運であるといえます。夜はよく眠ることができ、助けを求めるのではなく、故郷の友や家族に支援の手を差し出すことができるという立場にもいます。

日本には 15 年以上住んでいます。京都や大阪というような大きな町に住んでみたいとも思いましたが、私は日本での人生の全てを三重県で過ごしてきました。このことを私の友人たちに言うといつも、日本語がペラペラだと思われてしまいます。うーん。そうでもない(笑)。どうやってこうなったのかわかりませんが、そうなんです、今まで、正式な日本語教育や訓練を受けていないのに何とか今まで過ごして来れました。



私の第二の故郷である日本での逸話を一つお話ししましょう。

なくした直後に荷物が私の元に戻ってきました。

数年前、伊勢のお祭りで楽しんでいたのですが、その時財布をどこかに落としてしまいました。次の日、近くの交番に電話をしてそのことを伝えました。数時間後、警察から何方が財布を届けてきたので取り来てくださいという連絡を受けました。何らかの形で証明書をもっていかなければなりませんでした。

笑ってしまったのは全ての証明書類はその財布の中に入れてあったということです。なので私の財布の中に入っているものを伝えました。そしたら財布を返してくれました。

もっと面白くて、楽しいお話を伝えることができればいいのですが、スペースが足りません。

ここで定年を迎えるかどうかは 100% 確実ではありませんが、永住権をいただいているので、可能性はあります。確実に分かっていることは、どこにしようとする私の日本での人生の旅は永久に忘れられない価値のあるものであるということはいえます。



いせ日本語教室 Facebook



伊勢市国際交流協会 HP